

令和8年度 第1回愛媛県地域公共交通網再編協議会 議事録

日 時 令和8年6月17日(水) 14:00～15:30

場 所 愛媛県庁第二別館 11階 大会議室

1 開会

事務局 : ただ今から、令和8年度第1回愛媛県地域公共交通網再編協議会を開会する。

村上会長 : 本協議会の会長を務めさせていただいている、愛媛県政策企画局長の村上です。

公共交通を取り巻く環境は、人口減少による利用者の減少や運転手不足に加え、新たなモビリティサービスの進展など、大きく変化している。こうした中、持続可能な公共交通ネットワークを確保していくためには、自治体、交通事業者、関係機関が一層連携して知恵を合わせることが重要であると考えている。

本日は、生活バスの地域間幹線系統、離島航路、鉄道施設に関する計画についてご審議をいただくほか、県の取組みについて報告する。また、JR四国様から、中期経営計画等についてご説明いただく。

委員の皆様には、それぞれの地域の実情を踏まえ、忌憚のないご意見を賜るようお願いする。

2 令和7年度事業報告及び収支決算、令和8年度事業計画及び収支予算について

村上会長 : 議事に入る前に、本協議会は公開で行うことを了承いただきたい。

また、副会長について、委員改選後に会長が指名することとなっているため、引き続き愛媛大学の松村委員にお願いする。

それでは、議事(1)「令和7年度事業報告(案)及び収支決算(案)」について、事務局から説明させる。

事務局 : ※【資料1、2】により、令和7年度事業等を説明

村上会長 : ただいまの説明について質問等はあるか。

(なし)

村上会長 : 議事(2)「令和8年度事業計画(案)及び収支予算(案)」について、事務局から説明させる。

事務局 : ※【資料3、4】により、令和8年度事業等を説明

村上会長 : ただいまの説明について質問等はあるか。

(なし)

議事(1)、(2)ともに承認してよろしいか。

(承認)

3 地域間幹線系統確保維持計画の策定等について

村上会長 : 議事(3)「地域間幹線系統確保維持計画の策定等」について、事務局から説明させる。

事務局 : ※【資料5-1】により、令和9年度地域間幹線系統確保維持計画を、

【資料5-2】により、令和9年度離島航路確保維持計画を、

【資料５－３】により、令和８年度離島航路確保維持計画の変更を、
【資料５－４】により、令和８年度生活交通改善事業計画を、
【資料５－５】により、令和８年度生活交通確保維持改善計画を説明

村上会長：ただいまの説明について質問等はあるか。
(なし)

村上会長：議事(3)について、承認してよろしいか。
(承認)

村上会長：バス事業者の委員から各社の状況等の説明をお願いする。

中川委員：一番大きな経営課題は、人員不足、運転士不足。私どもは３年連続で賃上げを実施
(伊予鉄バス) し、昨年度はそれまでと比べて比較的多くの方に入社をいただいた。昨年の協議
会では、当時１割から２割程度、必要人員に足りていないと発言したが、現状は１
割程度の不足にまで改善してきている状況である。

ただ、昨今入社いただく方は年齢層が比較的高めで、この先５年、１０年と、中期的
に先を見据えると、まだまだ力を入れていかなければ持続可能な形をとるには難し
いと考えている。そのため、当社としては外国人運転士の採用を始めたり、まだ営
業運行開始にはなっていないけれども、自動運転バスの運行の実証を始めたりと、
持続可能な公共交通を実現するためにチャレンジしている。

田中委員：昨年度の生活交通路線の収入は、対前年比でマイナス２.６％、約７００万円の減収に留
(宇和島自動車) まっていたが、近年の物価高騰、特に人件費の高騰の影響から経常費用が３％、
３０００万円ほど上がっており、結果として欠損が３８００万円ほど増えている。

近年の人口減少などを勘案すると、輸送人員の増加は見込めないことから、私ども
も本年４月１日に欠損縮小を目的として、２９年ぶりに運賃改定を実施した。改定内
容は、上限１８.６８％、実施運賃４.９６％である。

運賃改定の効果としては、４月から５月の結果では、路線の廃止及び減便による走
行距離がマイナス８.３％であるのに対し、収入はマイナス１.３％に留まっており、
人口の減少率や減便等を考慮すると、運賃改定の効果がはっきり見て取れる。ただ、
前年並みを維持するためにはさらなる改定が必要と判断し、来年も運賃改定を予定
している。

また、モーダルミックスの実証実験を、今年度も愛媛県及び沿線市町の協力により、
今年８月１日から来年３月１９日までの期間、ＪＲ予土線愛媛県側の宇和島駅から
松丸駅間を有効区間として実施する。これまでは現金以外の様々な券種に対応して
いたが、今年度からは通学定期のみの対応となる。利用者からの負担額も求めるよ
うにした。

村上会長：人口減少による利用者減等、大変厳しい状況にありながら、地域公共交通の維持に
懸命に取り組まれており、心から感謝を申し上げる。引き続き関係者による共創に
向けて、連携を密に進められたらと思っているので、よろしくお願いします。

４ ＪＲ四国の中期経営計画等について

村上会長：議事(4)「ＪＲ四国の中期経営計画等」を、四国旅客鉄道様にご報告いただく。

四国旅客鉄道：【資料6】により、JR四国の中期経営計画等を説明

村上会長：ただいまの説明について質問等はあるか。

(なし)

村上会長：鉄道は、地域公共交通の根幹を成すもので、そのあり方については、他の交通事業者や関係機関の皆様にも大いに関わるもの。今後も機会あるごとに地域鉄道に関する議論を深めてまいりたいので、どうぞよろしくお願いします。

5 県の交通施策紹介について

村上会長：議事(5)「県の交通施策紹介」について、事務局から説明させる。

事務局：※【資料7】により、県の交通施策（自動運転、事業者支援、新モビ）を説明

事務局：自動運転バスの国庫補助を受けるに当たっては、補助対象となるルート等を地域公共交通計画において公表する必要がある。具体的な内容や時期、手続等について国への確認・調整を進めるが、今後、地域公共交通計画を審議する本協議会に、同計画の改訂についてお諮りすることとなるので、この場で周知させていただく。
新モビリティサービス導入促進事業については、地域の実情を踏まえた課題解決に向けて、新たな取組みを検討する市町を後押しできる補助制度にしたいと考えており、補助金の活用については、気軽にお問い合わせいただきたい。

6 その他意見

松村副会長：今日は、かなり重要な話があった。

1つは、地域間幹線系統について、コロナ禍の状況で緩和されていた要件緩和が来年度からなくなること。地域間幹線系統が補助落ちすると、現行のフィーダー補助ももらえなくなるかもしれない。幹線は県任せにされているかもしれないが、実はかなり大きなことで、幹線系統に人を乗せるためにフィーダー系統で人を集めてつないでいるという意味でも、重要な情報共有だったと思う。

なぜ公共交通が重要なのかは、いろいろなところで話が出るが、地域間の平等性、そしてインバウンドの需要として選ばれる場所になると、公共交通が決定的に重要となる。四国を観光する外国人も増えているが、インバウンド需要の恩恵は、松山の圏域くらいでしか得られていないのではないかな。

もう1つ、JRの話があった。県内では、千人未満の路線として予土線と予讃海回り線があるが、予土線には北宇和高校、予讃海回り線には長浜高校が関与している。予土線は特に顕著だが、これらは8割9割、高校生の利用でもっている。今、高校再編の話が進んでいるが、もしも北宇和高校が統合などするようになると、予土線を残す選択肢は全くなくなる。昨年、県が主導してモーダルミックスの実証に取り組みされたが、これを今年度、市町も協力するところへ話を進めたことは極めて大きな功績だと思う。

公共交通が維持されなければ、地域から中学生、高校生がいなくなる。これは、決定的に地域の未来を失うことになる。長期的にも、公共交通の維持を図る際に高校生の存在は重要な要素であるので、公共交通に対する投資は、単に今乗っている高齢者だけのものではなく、地域の未来を守ることもである。各市町に帰られたら、

財政当局などにこれらを主張いただくとよい。中学生や高校生の関与を増やすような企画を、ぜひ考えてほしい。

公共交通を守るためには、もっと大きく言うと新幹線の誘致は重要だ。そうしなければ完全に取り残された場所になってしまうので、関係者の皆様に協力いただけるとありがたい。私で役に立つことがあれば対応するので、よろしくお願いします。

横手委員 : 利用者としては、一番、運賃に目が行く。運賃が上がって利用者が減っていく悪循環にならないように対策をお願いしたい。交通事業者単独では難しいと思うので、各市町で公共交通のお得感が得られるようなことができればよいのかな、と思っている。

最近、横河原線に乗って興居島へ行くといったことをグループでやっていて、電車に乗れば車より楽だし、楽しいということもあるので、PRできたらよい。

松村副会長から、中学生や高校生がいなくなるという話があった。特に南予は子どもを産む世代の人がいなくなっており、大変なことだと思う。公共交通は、乗り合ったおばさんから声をかけてもらうなどコミュニティの場になるし、若い人にもそのように感じてもらえるものであればよいと感じている。

リニアモーターカーのような巨額事業を止めて、公共交通に使えるように、と考えることもある。地域の公共交通は本当になくってはならないものなので、地域や皆さんで、車に乗りながらも公共交通を使う、という気持ちで生活することが大切。公共交通を使うには健康でないといけないので、健康なまちづくりも重要だと思う。

7 閉会

事務局 : 以上で、本日の愛媛県地域公共交通網再編協議会を閉会する。